

生活交通ネットワーク計画(案)  
(地域公共交通確保維持事業のうち地域内フィーダー系統関係)

(策定年月日) 平成26年6月 日  
(策定団体名) 岡崎市

生活交通ネットワーク計画の名称					
平成27年度岡崎市地域内フィーダー系統確保維持計画					
1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性					
<p>岡崎市では、平成20年度からの3か年間、地域公共交通活性化・再生総合事業計画に基づき、利便性の高いバスネットワークの構築に向け交通拠点間バスの実証運行を行うとともに、交通不便地域である額田地域においては地域の特性に見合った持続可能な生活交通とするため、地域が主体となり運行計画等を取りまとめ乗合タクシー等の実証運行を行ってきた。平成23年度からは本格運行として運行を継続するとともに、3年を運行期間と区切り、次の運行計画の再編に向け、地元住民と協議を進め、平成26年10月から利用実態等に合わせた新たな運行を開始する。</p> <p>そのうえで、中山間地域である額田地域で運行している乗合タクシー等は高齢者や子どもなど移動手段を持たない交通弱者にとって必要不可欠な公共交通であり、運行を維持することで地域住民の通院や買物など地域内における日常生活の移動や地域間交通ネットワークとの接続により市街地への広域的な移動手段を確保することを目的とする。</p>					
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果					
(1) 事業の目標					
路線名	H25年度実績 利用者数(人) (H25.4~ H26.3)	H27年度目標 利用者数(人) (H27.4~ H28.3)	H28年度目標 利用者数(人) (H28.4~ H29.3)	H29年度目標 利用者数(人) (H29.4~ H30.3)	備考
額田支所 市民病院線	8,445	8,468	8,445	8,445	通学利用を 除く 利用者数現状以 上
下山地区線	4,665	4,677	4,665	4,665	
宮崎地区線	8,449	609	608	608	
	一般利用 608 通学利用 7,841				
形埜地区線	1,157	1,160	1,157	1,157	
豊富・夏山 地区線	1,665	462	461	461	
合計	15,336	15,376	15,336	15,336	

※H27年度(H27.4~H28.3)はうるう年のため1日分多い利用者数を反映しています。

## (2) 事業の効果

中山間地域である額田地域の乗合タクシー等を維持することにより、当該地区に居住する地域住民の生活交通が確保されるとともに、地域間交通ネットワークとの接続により市街地への移動手段が確保される。

また、バスハイキングコースの設定等により外部から利用者呼び込む努力を行う地区もあり、地域住民の主体的な検討により利用促進等を図っていくことで、地域住民のマイバス意識が更に深まり、地域の生活交通の確保維持が図られる。

### 3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

## ○ 運行系統の概要及び運行事業者

運行系統名	系統区間	運行事業者
額田支所市民病院線	額田支所前⇄ちせい台公園⇄市民病院	名鉄バス(株)
下山地区線A	桃ヶ久保⇄市民病院⇄岡崎げんき館前	豊栄交通(株)
下山地区線B	北部診療所⇄桃ヶ久保⇄市民病院⇄岡崎げんき館前	
形埜地区線 (南大須・鍛埜コース)	北部診療所⇄南大須公民館⇄須淵橋⇄麻生公民館⇄北部診療所	(株)西三交通
形埜地区線 (切山・小久田コース)	上一色平⇄赤田和公民館⇄小楠⇄北部診療所	
形埜地区線 (毛呂・井沢コースA)	うつぎ⇄北部診療所⇄本郷⇄北部診療所	
形埜地区線 (毛呂・井沢コースB)	北部診療所⇄本郷⇄北部診療所⇄うつぎ⇄北部診療所	岡東運輸(株)
宮崎地区線	宮崎小学校⇄宮崎学区市民ホーム前⇄十王堂前⇄ナカシバ電工前⇄東河原口⇄高雲寺⇄木下公民館⇄千万町上⇄宮崎学区市民ホーム前	
豊富・夏山地区線 (夏山・鳥川コースA)	額田支所前⇄平針⇄寺野⇄星野医院⇄ハズノモト⇄星野医院	
豊富・夏山地区線 (夏山・鳥川コースB)	星野医院⇄寺野⇄平針⇄額田支所前⇄星野医院⇄ハズノモト⇄市道	
豊富・夏山地区線 (鳥川コース)	市道⇄ハズノモト⇄額田支所前⇄星野医院	

## ○ 運行事業者の選定について

額田支所市民病院線は、名鉄バス株が自主運行している路線だが、当該路線は市の公共交通ネットワークの一部として位置づけられており、接続する公共交通ネットワークも名鉄バス株が運行している。よって、他の運行事業者では、共通のサービスを利用者に提供できない恐れがあり、地域のニーズに沿った運行とならないため。

その他の路線については、平成25年度中においてプロポーザル方式により運行事業者を選定。

4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額			
○確保維持事業に要する費用（経常費用－経常収益）			
区 分	維持事業に要する費用（経常費用－経常収益）（千円）		
	平成 27 年度 (H26. 10～H27. 9)	平成 28 年度 (H27. 10～H28. 9)	平成 29 年度 (H28. 10～H29. 9)
費 用	45, 289	45, 560	45, 768
○費用の負担 確保維持事業に要する費用から国庫補助金額を差し引いた金額を岡崎市が負担する。			
5. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称			
○名鉄バス株式会社 ○豊栄交通株式会社 ○株式会社西三交通 ○岡東運輸株式会社			
6. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要			
○対象地域・・・旧額田町区域全域（山村振興法に基づく振興山村） ○対象地域の人口・・・8, 5 5 1人（平成26年4月 住民基本台帳）			
7. 協議会の開催状況と主な議論			
○平成25年6月21日 平成25年度第1回岡崎市交通政策会議を開催 額田地域の運行計画再編に関する市の考え方、再編スケジュールの説明 ○平成25年10月7日 平成25年度第2回岡崎市交通政策会議を開催 運行計画再編に関して地域住民が考えた運行計画再編案の説明 ○平成26年1月24日 平成25年度第4回岡崎市交通政策会議を開催 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について協議 ○平成26年3月26日 平成25年度第5回岡崎市交通政策会議を開催 平成26年10月から開始する額田地域乗合タクシー等の運行について地域公共交通会議として協議及び合意 ○平成26年6月17日 平成26年度第1回岡崎市交通政策会議を開催 平成26年度第1回岡崎市交通政策会議（協議会）を開催し計画について協議			
8. 利用者等の意見の反映状況			
岡崎市交通政策会議の構成員として、市民及び利用者代表の参画を得ており、交通政策会議の場において意見を聴取してきた。 地区ごとに開催された地区協議会等に行政も参画（平成24年度は12回、平成25年度は4回）し、利用促進策等も含め地域公共交通を確保維持するために聴取した意見を集約した。その意見をもとにした運行計画を作成し、平成26年10月から新運行として実施する。			

9. 協議会メンバーの構成員	
学識経験者	愛知工業大学客員教授 名城大学教授
市民及び利用者代表	岡崎市総代会連絡協議会 岡崎市老人クラブ連合会 岡崎市障がい者福祉団体連合会 岡崎商工会議所 六ツ美商工会 額田地域生活交通協議会
交通事業者等	名鉄バス株式会社 名鉄東部交通株式会社 名古屋鉄道株式会社 愛知環状鉄道株式会社 公益社団法人愛知県バス協会 愛知県タクシー協会岡崎支部
地方運輸局	中部運輸局 愛知運輸支局
交通施設管理者等	愛知県西三河建設事務所 愛知県警察岡崎警察署
関係都道府県	愛知県地域振興部交通対策課
関係市区町村	岡崎市
その他会長が必要と認める者	豊栄交通株式会社 株式会社西三交通 岡東運輸株式会社

【本計画に関する担当者・連絡先】  
 (住 所) 愛知県岡崎市十王町二丁目9番地  
 (所 属) 岡崎市都市整備部交通政策室  
 (氏 名) 成瀬 泰樹  
 (電 話) 0564-23-6486  
 (e-mail) kotsu@city.okazaki.aichi.jp